

フリーWi-Fiを安全に利用するために

公共の場所や店舗で提供されているフリーWi-Fiですが、便利な反面、危険性もあるので、安全な使い方を知ることが必要です。

危険①～通信ののぞき見

暗号化されていないフリーWi-Fiに接続した場合、ウェブサイトやメールなどの通信内容が、悪意ある人に見られてしまう危険性があります。

ID	abcde
パスワード	1234
ログイン	

入力したID・パスワードを…

インターネット

ID	abcde
パスワード	1234
ログイン	

のぞき見する！

危険②～アクセスポイントのなりすまし

本物のWi-Fiスポットに似せたり、同じ名前で偽のWi-Fiスポットを作り、接続した人の通信内容をのぞき見します。

本物そっくりのWi-Fiスポットを作る！

- 📶 ○_FreeWi-Fi(本物)
- 📶 △_FreeWi-Fi(にせ物)

△_FreeWi-Fi(にせ物)に接続すると…

のぞき見する！

インターネット



- 個人情報やID・パスワードなどの情報が漏えいしてしまうと…
- アカウントへの不正アクセス
(アカウントにクレジットカード情報が登録されていると不正利用される可能性があります)
 - 悪意のある偽サイトへの誘導
などの危険性があります！

フリーWi-Fi利用時の心構え
 インターネットで通信をする場合、通信を暗号化する

- ・ HTTPS通信 (URLが「https://～」から始まる。)
- ・ VPNサービス(仮想の専用回線)

は、「通信ののぞき見防止」に効果があります。
 ただし、フリーWi-Fiの場合、通信が暗号化されていても、ルータとの通信がのぞき見される可能性があるため、大事な情報(個人情報、ID・パスワードなど)は入力しないようにしましょう。

